

# ワークシート：ChatGPT を活用した「地域の未来を考えよう」

## 1. テーマ設定

「徳島県西部の未来」に関して、自分たちが考える地域の課題をテーマとして決めましょう。

テーマ：

## 2. グループ内でアイデアを出し合う

グループ内で話し合い、地域の課題を解決するためのアイデアを考えましょう。

まだ ChatGPT は使わず、自分たちで意見をまとめてください。

## 3. ChatGPT を使ってアイデアをブラッシュアップ

グループで出し合ったアイデアを ChatGPT に質問して、フィードバックや追加のアイデアを得ましょう。自分たちのアイデアをさらに発展させるために、以下の質問を考えてみてください。

ChatGPT に投げかける質問：

自分たちのアイデアを改善するための質問

例：「観光業を活性化させるために考えたイベント計画をもっと効果的にするにはどうしたらいいですか？」

実現可能性についての質問

例：「地域の住民や企業が協力しやすい方法には何がありますか？」

## 4. ChatGPT のフィードバックを基にアイデアを改善

ChatGPT から得たフィードバックを基に、自分たちのアイデアをブラッシュアップしましょう。

改善点（ChatGPT のフィードバックで気づいた点や、アイデアの変更点を記入してください）

## 5. 最終的なアイデアのまとめ

ChatGPT のフィードバックを取り入れて、最終的なアイデアをまとめます。

最終アイデア（具体的なアクションプランや解決策を明確にしましょう）

## 6. 発表準備

1分間で発表する内容を簡潔にまとめましょう。

発表の要点：

テーマと課題：

解決策・アイデア：

## 7. 他の班の意見などを参考に

クラス全体や先生からのフィードバックを受けて、仮説や調査計画を修正しましょう。

修正点や次に向けて：

【メンバーと役割】

リーダー（進行役・発表）： \_\_\_\_\_

リサーチ担当（情報収集）： \_\_\_\_\_

記録・まとめ担当（意見を整理）： \_\_\_\_\_

評価項目	4 (非常に良い)	3 (良い)	2 (一部不足)	1 (改善が必要)
課題の明確さ	課題が非常に明確で、具体的な問題提起ができており、地域の特性を十分に考慮している。	課題が明確で、地域の現状を正確に捉えている。	課題がやや曖昧で、解決すべき問題が一部不明確。	課題が不明確で、解決すべき問題がはっきりしない。
アイデアの独自性と具体性	アイデアが独創的で具体的、実現可能な行動計画も明確。	アイデアが具体的で、実現可能性が高い。	アイデアが抽象的で、実現可能性に不安が残る。	アイデアが不明確で、実現可能性が低い。
ChatGPT の活用	ChatGPT を効果的に使い、アイデアの改善や拡張を適切に行った。	ChatGPT を活用して、得たフィードバックを適切に反映した。	ChatGPT を使用したが、フィードバックを十分に反映できていない。	ChatGPT をほとんど活用しておらず、改善点が見られない。
役割分担と協力	全員が自分の役割をしっかりと果たし、チームとしてスムーズに協力して進行できた。	全員が自分の役割を果たし、協力し合った。	一部のメンバーが役割を果たしていない、協力が不足している部分があった。	役割分担や協力に問題があり、グループの進行に支障があった。
発表の明確さと構成力	発表が非常に分かりやすく、論理的に整理されており、聞き手を引き込む内容だった。	発表が分かりやすく、内容も論理的に整理されている。	発表が不明確で、内容に一部整理されていない部分があった。	発表が曖昧で、聞き手に伝わりにくかった。